

## インフォメーション

### 春夏製品のご案内



#### こてっちゃん コク味噌味



こてっちゃんの美味しさのポイントは、クセになるコクと旨みです。  
3種類の味噌を使った合わせ味噌、ローストガーリックを使用したコクの深いたれで仕上げました。

#### リニューアル こてっちゃん にんにく塩味



ローストガーリック、おろしにんにく等を使用した深みのあるコクが特長です。また胡椒を加え、スパイス感のある風味の良い味に仕上げました。

#### こてっちゃん 旨辛コチジャン味



コク・旨みが特長の「韓国産コチジャン」を使用し、にんにくとごま油で旨みのきいた味に仕上げました。  
コクのある辛さがビールのおつまみはもちろん、ごはんのおかずにもピッタリです。

#### 新発売

#### こてっちゃん 牛ホルモン炒め

下味をつけた牛もつと調理ソースを分けたセパレートタイプの商品です。黒だれ、白だれ、赤だれ、それぞれの味は、牛もつはもちろん、野菜とも相性ピッタリです。



### 株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまだけにお届けします。

#### ご優待内容

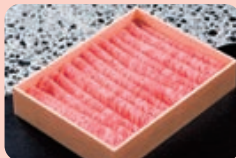
##### ■2月末の株主さま

- ◎2,000株以上保有の株主さま  
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」
- ◎500~1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社グループ製品」  
※上記の国産牛肉（豚肉）および自社製品は11月にお送り致します。

##### ■2月末、8月末の株主さま

- ◎100株以上保有の株主さま一律「当社オリジナルギフト商品を優待価格にて販売」  
※6月、11月に対象株主さまにカタログをお送り致します。

国産牛肉（和牛） 弊社が厳選した国産牛肉、豚肉の逸品。注2,000株以上保有



ローススライス



ロースステーキ

#### 国産豚肉（ゆめの大地）



※写真はイメージです。  
料理写真の野菜、仕器等は  
ご優待セットには含まれておりません。

## 会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号2292東証1部)
設立	1967年(昭和42年)5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容	食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業 (グループ)

## 株式メモ

■事業年度	3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日	2月末日
■中間配当金受領株主確定日	8月31日
■定時株主総会	毎年5月
■株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■電話照会先 インターネット ホームページURL	電話 ☎0120-782-031(通話無料) <a href="https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html">https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html</a>

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■上場証券取引所	東京証券取引所
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html">http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html</a> <small>(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)</small>
■単元株式数	100株

【特別口座の口座管理機関変更に関するご案内】

2016年5月25日をもって、特別口座の口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社へ変更いたしました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)  
<http://www.sfoods.co.jp/>



# SFoods News

2019年2月期

2018年3月1日～2019年2月28日



代表取締役社長  
村上 真之助

## 事業の概況に についてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、前半は好調な企業業績や堅調な個人消費に支えられ、全般的には回復基調にあったものの、後半は、災害による経済活動の停滞や貿易摩擦による輸出入の鈍化などにより、景気の後退感が広がりました。食肉業界

においても、原材料費や流通経費の値上がり、求人難など経営を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況において、当社グループは、企業の安定的発展を進めるため、食肉の生産から小売・外食までの食肉に関わる事業を一貫して取り組む垂直統合を事業戦略として推進してまいりました。食肉等の製造・卸売事業においては、最上流にあたる食肉の生産・調達部門に力を入れており、日本の主要食肉種類である牛・豚・鶏の生産機能を確立し、徐々に市場への浸透を進めてまいりました。特に、北海道の豚肉ブランド「ゆめの大地」と米国の高級牛肉ブランド「オーロラビーフ」は、当社がグループを挙げて取り組んでいる商品であります。グループで取り組むことにより、効率の向上、コストの低減を実現してまいりました。



また、これらのブランドを使った食肉製品の開発も進めてまいりました。製品事業では、「こてっちゃん」や「こてっちゃん牛もつ鍋」などの定番商品のリニューアルを行い、販売の強化に努めるとともに、製造拠点の拡充も行い、より高度化する得意先の要求に応えられる体制の整備を進めてまいりました。



食肉等の小売事業においては、惣菜部門と精肉部門の組織を統合し、スケールメリットを活かすとともに、よりスピードを上げた運営を進めてまいりました。既存店活性化や不採算店の閉鎖を実施しつつ、新規ディベロッパーへの出店や、新業態店舗への取り組みを進め、各種イベントに沿った提案型の販売では、全店舗が参加の上、情報を相互に共有し、より効果的な提案の実現を図ってまいりました。また、さらなる競争力向上のための人材開発等施策にも取り組み、より専門知識を持った従業員育成のための肉のマイスター制度の定着化、パートアルバイトスタッフの教育制度の充実、作業オペレーションの改善等を実施しております。

食肉等の外食事業においては、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業とステーキレストランチェーン事業の共同での新規大型出店を果たしました。また、メニュー及び料金の改定や店舗リニューアル等、競争力向上のための施策を実施するとともに、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業では不採算店の閉鎖も実施しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,387億8千1百万円(前連結会計年度比7.1%増)、営業利益は109億7千3百万円(前連結会計年度比0.1%増)、経常利益は113億4千4百万円(前連結会計年度比1.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は71億8千5百万円(前連結会計年度比7.4%減)となりました。

## 今後の見通し

世界経済の減速が長期化する兆しを見せる中、国内景気も諸コストのさらなる上昇や海外リスクへの懸念に引きずられる形で将来に対する不透明感が強まっております。食肉業界においても、楽観できる要素が少なく当面は厳しい経営環境が続くと予想されます。このような環境下、当社グループは既存事業の経営安定化とグループ内での協業強化を図りつつ、新規事業によるグループ基盤の拡大に取り組んでまいります。食肉等の製造・卸売事業においては、最上流にあたる食肉の生産・調達部門をさらに拡充してまいります。アジアを中心とする新興国の経済発展や気候変動により食品の調達環境は厳しさを増しております。総合食肉企業として、国内のみならず世界的な食肉調達力を強化して、安定的な

商品供給能力を保つことが最重要課題と考えております。また、今後、大きな成長が望める海外の小売・外食市場での営業活動を強化してまいります。さらに、来年度中には千葉県船橋市に製造・卸・流通機能を統合した拠点が完成し営業を開始する予定であり、これにより首都圏での営業力が大幅に強化される見通しであります。

製品事業においては、日本の社会構造の変化に伴う食肉製品の需要の変化をいち早く捉え、新たなニーズにすばやく対応できる加工製造体制を構築してまいります。より加工度が高く簡便性のある商品が好まれる傾向にあることから、それに合致した商品の開発・製造・販売体制作りを進めてまいります。また、グループでの品質保証体制を強化し、さらに高度で精緻な管理ができるよう進めてまいります。食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化や、不採算店閉鎖を進めてまいります。また、精肉小売と惣菜小売の統合をさらに進め、スケールメリットを活かしたより効率的な運営を図る予定であります。

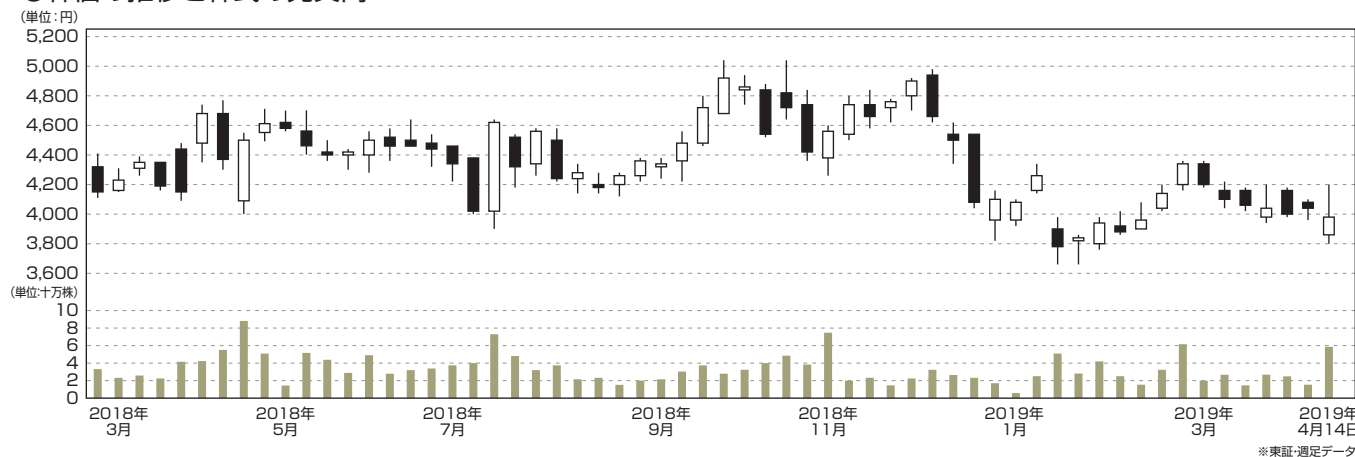


新東京支店完成予想図

食肉等の外食事業においては、従来からの着実な採算重視の経営を維持しつつ、ステーキレストラン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業の競争力を持たせながら着実に運営するとともに新店の開発にも注力する計画であります。

グループ経営の向上については、拡大を続けるグループの統一性を保つために、各企業の自立的経営を尊重しつつも、グループ内の協力関係の促進と目指すべき方向の同一化を進めてまいります。また、グループの社員一人ひとりが仕事を通じて自己実現を果たせるような職場づくりを目指してまいります。

## ●株価の推移と株式の売買高



次期の見通しにつきましては、売上高3,600億円(前連結会計年度比6.3%増)、営業利益115億円(前連結会計年度比4.8%増)、経常利益120億円(前連結会計年度比5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益78億円(前連結会計年度比8.6%増)を見込んでおります。

## 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。さらに、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

## 営業成績と財産状況の推移(連結)

期別 区分	第51期 2017年2月期	第52期 2018年2月期	第53期 2019年2月期	第54期見通し 2020年2月期
売上高	281,233	316,411	338,781	360,000
営業利益	10,555	10,959	10,973	11,500
経常利益	10,843	11,482	11,344	12,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,499	7,760	7,185	7,800
総資産	134,271	156,649	165,542	
純資産	64,524	86,552	86,028	
1株当りの年間配当金	35円	43円	56円	60円

単位:百万円(配当金を除く)

※東証:適定データ